

令和4年度 全国学力・学習状況調査 調査の結果と分析について

実施日：令和4年4月19日（火） 八尾市教育委員会

1. 令和4年度全国学力・学習状況調査の概要について

- (1) 調査の目的
- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
 - 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
 - そのような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する
- (2) 調査の対象
- 小学校調査 小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6年生
 中学校調査 中学校第3学年、義務教育学校後期課程第9年生
- (3) 調査の内容
- 教科に関する調査
 小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6年生：国語・算数・理科
 中学校第3学年、義務教育学校後期課程第9年生：国語・数学・理科
 - 質問紙調査
 調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査
 - 学校にする調査
 調査対象の児童生徒が在籍する学校を対象に、指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査
- (4) 調査結果の取り扱いに関する配慮事項
- 本調査の目的及び調査結果が、学力や学習状況、生活状況の特定の一部であることを踏まえる

2. 八尾市の調査結果について

- (1) 調査を行った学校数と児童生徒数
- 市立小学校27校、義務教育学校前期課程:第6学年（国語2063名 算数2061名 理科2068名）
 - 市立中学校14校、義務教育学校後期課程:第3学年,第9学年（国語1898名 数学1905名 理科1906名）
- (2) 児童生徒への個人調査結果票の返却日
 返却基準日 令和4年8月25日（木）～令和4年9月2日（金）

(3) 学力に関する調査結果について

<小学校、義務教育学校前期課程の平均正答数と正答率比較 公立小学校集計値>

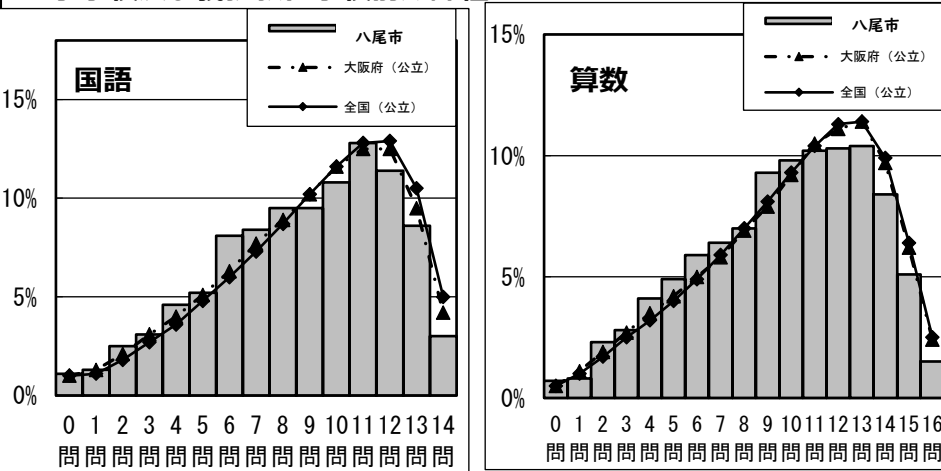
| | 平均正答数 | | | 平均正答率 (%) | | | 対全国比 | |
|----|--------|---------|---------|-----------|------|------|------|-----------|
| | 八尾市 | 大阪府 | 全国 | 八尾市 | 大阪府 | 全国 | R4 | R3 |
| 国語 | 8.7/14 | 9.0/14 | 9.2/14 | 62.1 | 64 | 65.6 | 0.95 | 0.94 |
| 算数 | 9.6/16 | 10.0/16 | 10.1/16 | 60.2 | 62.6 | 63.2 | 0.95 | 0.99 |
| 理科 | 9.9/17 | 10.3/17 | 10.8/17 | 58.1 | 60.4 | 63.3 | 0.92 | 0.93(H30) |

<中学校、義務教育学校後期課程の平均正答数と正答率比較 公立中学校集計値>

| | 平均正答数 | | | 平均正答率 (%) | | | 対全国比 | |
|----|--------|--------|---------|-----------|------|------|------|-----------|
| | 八尾市 | 大阪府 | 全国 | 八尾市 | 大阪府 | 全国 | R4 | R3 |
| 国語 | 9.4/14 | 9.4/14 | 9.7/14 | 67.2 | 67.2 | 69 | 0.97 | 0.93 |
| 数学 | 7.2/14 | 7.1/14 | 7.2/14 | 51.4 | 50.7 | 51.4 | 1.00 | 0.96 |
| 理科 | 9.4/21 | 9.8/21 | 10.4/21 | 44.8 | 46.6 | 49.3 | 0.91 | 0.97(H30) |

3. 結果分析について

■小学校及び義務教育学校前期課程

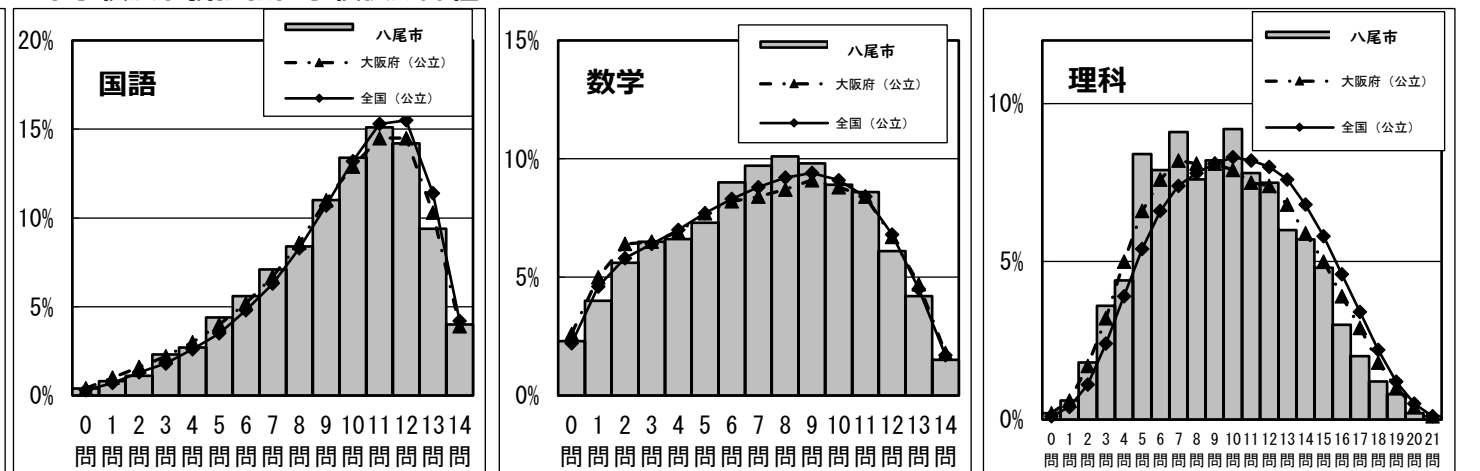


○登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉えることができる。
 ◆互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめて書くことに課題がある。
 ◆文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見つけて書くことに課題がある。

○数量が変わっても割合は変わらないことを理解することができる。
 ○表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができる。
 ◆正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述することに課題がある。

○問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えを持つことができる。
 ◆水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解することに課題がある。

■中学校及び義務教育学校後期課程



○文脈に即して漢字を正しく書くことができる。
 ○表現の技法について理解することができる。
 ◆自分の考えがわかりやすく伝わるように、根拠を明確にして書いたり、表現を工夫したりすることに課題がある。

○素因数分解や連立方程式を解くことができる。
 ○一次関数の変化の割合の意味を理解することができる。
 ◆結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見いだし、説明することに課題がある。

○分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学式で表すことができる。
 ◆物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明することに課題がある。